



保護者の皆様

令和6年10月10日

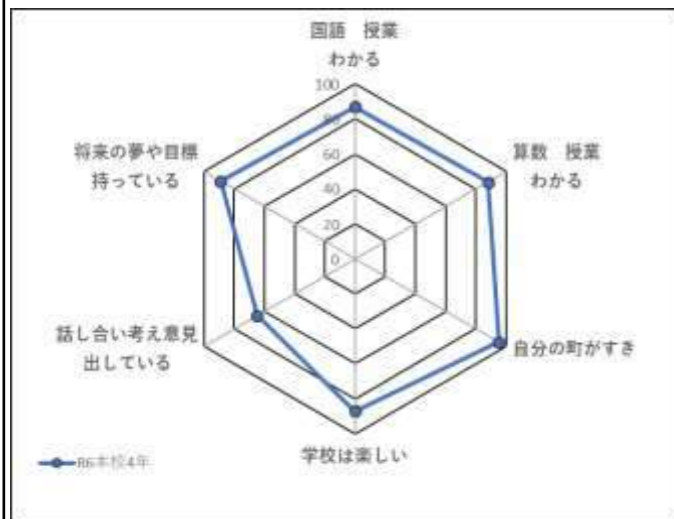
川崎市立東小倉小学校
校長 安藤 勉

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月11日（木）～12日（金）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）
東小倉という町に愛着をもち、誰もが明日も登校したくなる学校の創造。
（重点）
○主体的・対話的で深い学びの視点からの普段の授業改善による学びの充実。
○お互いの良さを認め合い、協働して課題や活動に取り組める場面の保障。

令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



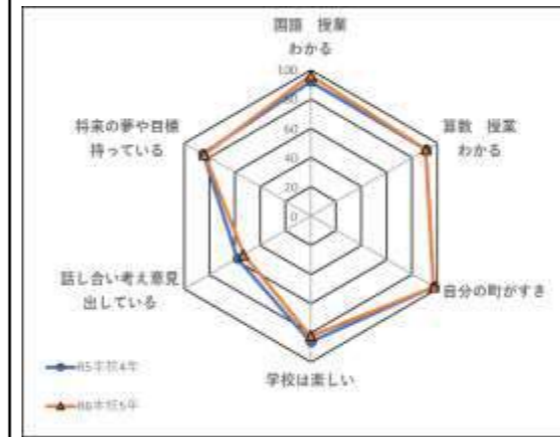
	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R6本校4年	69	71
R6全体4年	60	58

・「国語の授業がわかる」という項目は、87.2ポイントを示しています。「思考・判断・表現」は69.0ポイントと全体平均を上回っています。しかし、記述式の問題では、全体でも本校でも正答率が低い傾向にあります。授業の中で自分の考えをもつ時間を確保し、伝え合う活動を取り入れることで、更に力を伸ばしていけるようにします。

・「算数の授業がわかる」という項目は、88.0ポイントを示しています。特に「思考・判断・表現」は71.0ポイントを示しており、どの領域でも全体平均より高くなっています。今後も自力思考の場面と意見交流の場を十分確保し、様々な方法で考えたり理解したりできるようにします。

・「話し合いのときに考えや意見を進んで出している」は65.3ポイントと課題が見られます。「進んで伝えよう 思いを受け止めよう 豊かにかかわり合おう」というテーマを基に、モジュール活動（ことばのたまご）や各教科でペアやグループ、全体など様々な形態での意見交流を取り入れることで、楽しく話し合える雰囲気大切にしていきたいです。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生



	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R6本校5年	68	58
R6全体5年	56	38

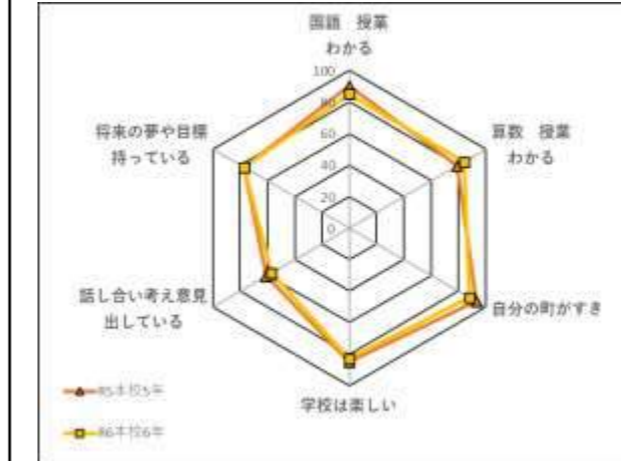
・「国語の授業がわかる」は96.0ポイントで、4年次から3ポイント上昇しています。また、「思考・判断・表現」も68.0ポイントと全体よりも12.0ポイント上回っています。今後も授業やモジュール活動（ことばのたまご）を通して思考力・判断力・表現力の向上を目指していきます。

・算数の「思考・判断・表現」は、58.0ポイントと全体よりも20.0ポイント上回っています。これは、「応用」問題で全体の正答率が約47%に対し、本校が約68%と高い正答率が関係していると思われます。しかし、記述式の問題やデータを活用する領域に関する正答率は他の領域に比べ低くなっています。今後は、データを活用して整理、分析、考察する力を汎用的なものにしていけるように、他教科等との関連を図っていきます。

・「話し合いのときに考えや意見を進んで出している」は前年度よりも6.0ポイント数値が下がっています。授業や普段の活動から自分の考えを述べる大切さを子供たちに伝え、どんな場面でも考えを表現できる子を目指していきます。

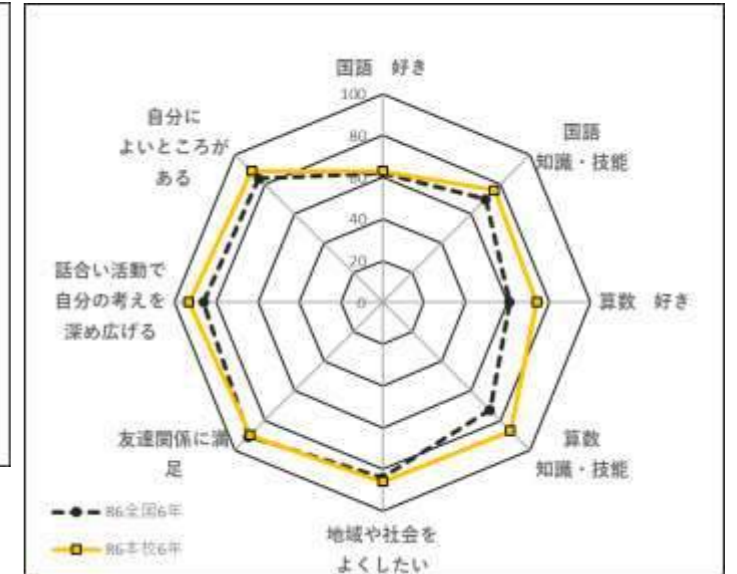
・「自分の町が好き」は96.0ポイントで昨年度同様高い数値を示しています。学校教育目標の『東小倉に愛着をもち』という部分の実現に近づいていることが分かります。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生



	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R6本校6年	75	44
R6全体6年	63	31

全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語の授業がわかる」という項目は85.3ポイントを示しています。「思考・判断・表現」は全体を上回っており、知識・技能を生かし思考する学びが「授業の理解度」につながっていると考えられます。「国語が好き」という項目は全国平均とほぼ変わりません。理解したことが授業や実生活の中で生かされ、国語の学びの面白さを子供が実感できるような学習を目指します。

・「算数の授業がわかる」という項目は83.5ポイントを示しています。「思考・判断・表現」「知識・技能」と「算数が好き」という項目はいずれも全体・全国平均を上回っています。今後は、算数で学んだ知識・技能が生かされ、自分たちで問題を解決する方法を考え協働的に学ぶ姿を目指していきます。

・「話し合いのときに考えや意見を進んで出している」は56.9ポイントを示しています。一方で全国学力状況調査の「話し合い活動で自分の考えを深め広げる」は全国平均を上回り約90ポイントを示しています。ここから、友達の話を受け入れ自分の考えを再構築することはできていると考えられます。話し合いでは受信するだけでなく、発信することの良さも実感できるようにしていきたいです。